

佐賀県感染症発生動向調査速報

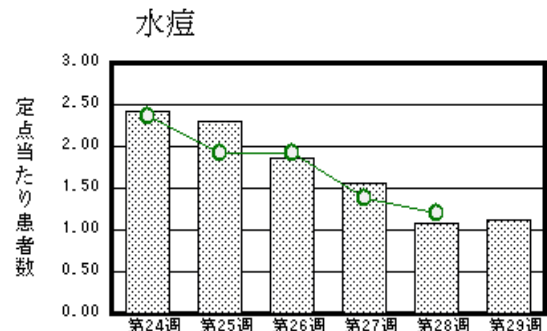
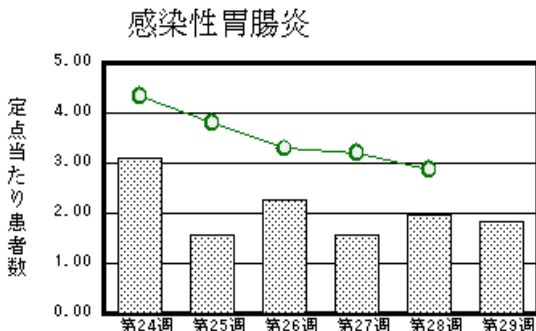
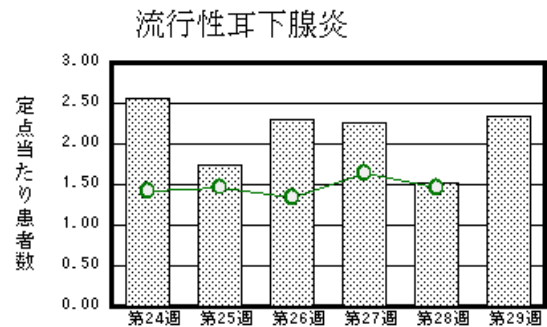
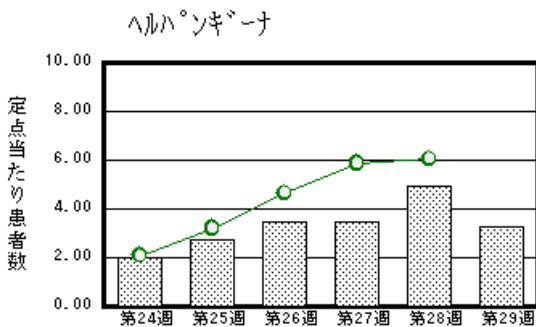
平成17年第29週 平成17年7月18日(月)～平成17年7月24日(日)

<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 ヘルパンギーナ (75名) 流行性耳下腺炎 (64名) 感染性胃腸炎 (42名)
水痘 (26名) 手足口病 (22名)
- 【ヘルパンギーナ】患者報告数が減少しました(114 75名)が、過去5年間の同時期と比較して多くなっています。うがい、手洗い等感染予防に努めましょう
- 【咽頭結膜熱】過去5年間の同時期と比較して多くなっています。うがい、手洗いや水泳後のシャワー励行等感染予防に努めましょう 詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/kakotopics/kakotopics/intouketumaku0507/tem.html>



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2005年第27週号 (7月4日～7月10日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第27週 > ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第12週以降、連続して増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< インフルエンザ > 第20週以降減少が続いていたが、第27週になって増加した < 腸管出血性大腸菌感染症 > 第27週に報告された135例のうち、年齢階級別では0～9歳が最も多く、42%を占めた
・ 病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2005年 / 手足口病患者から検出されているウイルス2005年
・ 速報	コクサッキーウイルスA6型を原因とした手足口病、ヘルパンギーナの流行 - 奈良県
・ 海外感染症情報	セネガルでのコレラ流行 / アンゴラでのマールブルグ病流行 / 米国でのウエストナイル熱流行
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

今週の届出はありませんでした。

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成17年第29週

平成17年7月18日 (月) ~ 平成17年7月24日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第28週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								866 0.18
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								16
	咽頭結膜熱		3 1.00	6 1.50	12 4.00		21 0.91	24 1.04	1957 0.64
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	4 0.50	8 2.67	2 0.50	1 0.33	2 0.40	17 0.74	19 0.83	3226 1.06
	感染性胃腸炎	16 2.00	11 3.67	2 0.50	3 1.00	10 2.00	42 1.83	45 1.96	8721 2.87
	水痘	12 1.50		4 1.00	4 1.33	6 1.20	26 1.13	25 1.09	3649 1.20
	手足口病	7 0.88	3 1.00		5 1.67	7 1.40	22 0.96	29 1.26	6991 2.30
	伝染性紅斑	1 0.13	1 0.33	2 0.50	1 0.33	1 0.20	6 0.26	14 0.61	1338 0.44
	突発性発しん	2 0.25	4 1.33	5 1.25	5 1.67	1 0.20	17 0.74	36 1.57	2303 0.76
	百日咳								28 0.01
	風しん								37 0.01
	ヘルパンギーナ	28 3.50	14 4.67	5 1.25	3 1.00	25 5.00	75 3.26	114 4.96	18369 6.04
	麻しん (成人 麻しんを除く)								24 0.01
	流行性耳下腺炎	22 2.75	23 7.67	5 1.25	2 0.67	2 0.40	54 2.35	35 1.52	4445 1.46
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								17 0.03
	流行性角結膜炎								718 1.11
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								10 0.02
	無菌性髄膜炎	1 0.50					1 0.17		35 0.07
	マイコプラズマ肺炎								127 0.27
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								2 0.00
	成人麻しん								1 0.00

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たりの患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は27週分 (患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成17年第29週 平成17年7月18日(月)~平成17年7月24日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSV ウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				3	1			2			3			6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満				2		1		9			8			12ヶ月未満								
1歳		1歳		2		12	5	7		5			11		2	1歳								
2歳		2歳		8		6	6	9		1			21		3	2歳								
3歳		3歳		2	1	4	4	3	1				13		10	3歳								
4歳		4歳		3	3	5	4		3				10		11	4歳								
5歳		5歳		3	2	5	2	1	2				6		8	5歳								
6歳		6歳		1	2	1	2								5	6歳								
7歳		7歳		1	3	1							1		4	7歳				1				
8歳		8歳			3	1	1	1							6	8歳								
9歳		9歳			1								1		1	9歳								
10歳~14歳		10歳~14歳		1	2	1	1						1		3	10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳														15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上				1									1	20歳~29歳								
30歳~39歳																30歳~39歳								
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		21	17	42	26	22	6	17			75		54	合計					1			
前期計		前期計		24	19	45	25	29	14	36			114		35	前期計								
当期間/前	***	当期間/前	***	0.88	0.89	0.93	1.04	0.76	0.43	0.47	***	***	0.66	***	1.54	当期間/前	***	***	***	***	***	***	***	***
増減数		増減数		-3	-2	-3	1	-7	-8	-19			-39		19	増減数					1			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

